



平成23年2月期 第1四半期決算短信

平成22年7月14日

上場会社名 株式会社 エスケイジャパン

上場取引所 東 大

コード番号 7608 URL <http://www.sk-japan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 久保 敏志

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 川上 優

TEL 06-6765-0670

四半期報告書提出予定日 平成22年7月15日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年2月期第1四半期の連結業績(平成22年3月1日～平成22年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第1四半期	2,292	△2.6	127	122.9	129	95.9	15	△93.0
22年2月期第1四半期	2,353	—	57	—	66	—	227	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第1四半期	1.93	—
22年2月期第1四半期	27.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第1四半期	4,057	1,840	45.1	222.39
22年2月期	3,608	1,889	52.1	228.45

(参考) 自己資本 23年2月期第1四半期 1,829百万円 22年2月期 1,879百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	6.00	—	8.00	14.00
23年2月期	—	—	—	—	—
23年2月期(予想)	—	6.00	—	6.00	12.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成23年2月期の連結業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	4,335	△5.0	65	△55.0	67	△60.6	59	△81.9	7.28
通期	8,900	△7.2	185	△62.5	188	△64.3	160	△46.8	19.54

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年2月期第1四半期	8,359,103株	22年2月期	8,359,103株
② 期末自己株式数	23年2月期第1四半期	133,596株	22年2月期	133,566株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	23年2月期第1四半期	8,225,533株	22年2月期第1四半期	8,225,831株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項は、4ページ【定性的情報・財務諸表】3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期は、卸売事業のうち物販業界向け販売部門がヒット商品に恵まれたことにより増収となりましたが、アミューズメント業界向け販売部門とSP部門及び小売事業が苦戦したため、売上高は2,292百万円（前年同期比2.6%減）となりました。売上高は前第1四半期の実績を下回りましたが、オリジナル商品が好調であったことによる利益率の改善及びグループ全体でコスト削減を進めた結果、営業利益は127百万円（前年同期比122.9%増）、経常利益は129百万円（前年同期比95.9%増）となりました。しかし、前連結会計年度に受注生産した商品の不具合から発生した追加費用等を商品不良損失として特別損失に102百万円計上したことにより、四半期純利益は15百万円（前年同期比93.0%減）となりました。

事業の種類別セグメントの概況は次のとおりであります。

(1) 卸売事業

アミューズメント業界向け販売部門においては、昨年度から引き続き、メーカー系・量販店系オペレーターを中心に、商品の企画段階からの提案営業体制を確立するために、専門の部署を設けて販売強化しました。この結果、メーカー系オペレーターへの売上高は前年同期比33.0%増、量販店系オペレーターへの売上高は前年同期比13.4%増となりました。また、商品名では「まるねこくらぶ」「でぶねこ」「Sweet Bear」の自社オリジナルキャラクターや、他の有名キャラクター商品が好調に推移しました。しかし、路面店への販売が振るわず、売上高は1,041百万円（前年同期比7.1%減）となりました。

SP部門においては、雑誌の付録や外食チェーン店のキャンペーン用商品、製菓会社の販売促進商品等が決まりましたが、前四半期に比べると全体的に1案件当たりの受注金額が減少し、売上高は315百万円（前年同期比12.6%減）となりました。

EC部門においては、昨年の4月から3サイトを運営し、徐々に知名度も上がってまいりました。自社オリジナル企画による他社との差別化を図るとともに、出店モール内での広告展開や書店等でのチラシ配布等の販売促進活動を進めてまいりました。これらの要因により、売上高は8百万円（前年同期比493.7%増）となりました。

物販業界向け販売部門においては、人気キャラクターのストラップやデコレーションメタルシートなどが好調であった携帯電話関連グッズが138百万円（前年同期比119.6%増）と大きく伸ばいたしました。これにより専門店チェーンへの売上が大幅に増加し、売上高は675百万円（前年同期比22.6%増）となりました。

以上の結果により、売上高は2,041百万円（前年同期比0.3%増）、営業利益は121百万円（前年同期比108.2%増）となりました。

(2) 小売事業

小売事業においては、心齋橋店、広島本通り店及び松山銀天街店の既存店に加え、コスメ・フレグランスと雑貨の新業態2店舗を実験的に運営しておりますが、それぞれの店舗モデルにおいて、地域性や立地特性をベースに変化する顧客ニーズに対応するため、きめ細かい対策を打ちながら新たなモデルを確立することができました。

売上高は消費環境を反映し苦戦しましたが、経費削減の徹底と粗利率の改善、在庫圧縮をはかり、第1四半期としては4年ぶりに営業利益の黒字化を達成しました。

以上の結果により、売上高は251百万円（前年同期比21.3%減）、営業利益は5百万円（前第1四半期は1百万円の営業損失）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ448百万円増加し、4,057百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加額454百万円によるものであります。負債は前連結会計年度末に比べ498百万円増加し、2,217百万円となりました。これは主に買掛金の増加額326百万円、短期借入金の増加額200百万円によるものであります。純資産は前連結会計年度末に比べ49百万円減少し、1,840百万円となりました。これは主に配当金による利益剰余金の減少額65百万円によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて454百万円増加し、1,278百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、266百万円（前年同期は264百万円の獲得）となりました。

これは主に、法人税等の支払額が188百万円あったこと等により一部相殺されたものの、税金等調整前四半期純利益が29百万円、賞与引当金の増加額が46百万円、売上債権の減少額が25百万円及び仕入債務の増加額が326百万円あったこと等を反映したものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、3百万円（前年同期は217百万円の獲得）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出が2百万円あったこと等を反映したものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、190百万円（前年同期は146百万円の獲得）となりました。

これは主に、短期借入金の純増額が200百万円あったこと等を反映したものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年4月14日に公表いたしました第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想を変更しておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,278,355	823,796
受取手形及び売掛金	1,255,024	※ 1,279,830
商品	357,408	364,600
繰延税金資産	17,602	15,603
その他	80,924	55,922
貸倒引当金	△6,886	△7,053
流動資産合計	2,982,428	2,532,700
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	526,955	526,955
減価償却累計額	△189,286	△185,868
建物及び構築物(純額)	337,669	341,087
車両運搬具	8,907	8,907
減価償却累計額	△7,342	△7,149
車両運搬具(純額)	1,565	1,757
その他	58,966	52,358
減価償却累計額	△41,794	△39,135
その他(純額)	17,171	13,222
土地	322,546	322,546
有形固定資産合計	678,952	678,613
無形固定資産		
無形固定資産合計	5,552	5,722
投資その他の資産		
投資有価証券	65,823	64,053
繰延税金資産	1,263	3,470
その他	337,713	345,199
貸倒引当金	△14,149	△20,928
投資その他の資産合計	390,651	391,794
固定資産合計	1,075,156	1,076,130
資産合計	4,057,584	3,608,831

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	978,362	651,975
短期借入金	550,000	350,000
未払法人税等	13,785	194,220
繰延税金負債	39	7
賞与引当金	88,512	41,611
その他	357,576	253,616
流動負債合計	1,988,276	1,491,430
固定負債		
退職給付引当金	104,474	104,733
役員退職慰労引当金	122,455	120,645
その他	2,334	2,682
固定負債合計	229,264	228,061
負債合計	2,217,540	1,719,491
純資産の部		
株主資本		
資本金	440,948	440,948
資本剰余金	471,887	471,887
利益剰余金	964,602	1,014,501
自己株式	△51,131	△51,122
株主資本合計	1,826,307	1,876,215
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,464	4,246
繰延ヘッジ損益	△295	△1,340
為替換算調整勘定	△184	—
評価・換算差額等合計	2,984	2,905
新株予約権	10,752	10,218
純資産合計	1,840,043	1,889,339
負債純資産合計	4,057,584	3,608,831

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年5月31日)
売上高	2,353,822	2,292,493
売上原価	1,728,654	1,630,751
売上総利益	625,167	661,742
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	1,827	—
給料及び手当	194,743	179,251
賞与引当金繰入額	43,829	46,900
退職給付費用	3,627	4,324
役員退職慰労引当金繰入額	—	1,809
その他	324,002	302,095
販売費及び一般管理費合計	568,029	534,381
営業利益	57,138	127,361
営業外収益		
受取利息	131	115
受取配当金	554	539
投資有価証券評価損戻入益	9,691	1,296
為替差益	—	1,160
その他	3,007	1,249
営業外収益合計	13,385	4,361
営業外費用		
支払利息	2,684	1,398
その他	1,554	485
営業外費用合計	4,238	1,883
経常利益	66,284	129,838
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	2,554
保険解約返戻金	106,366	—
前期損益修正益	※1 59,022	—
その他	11,835	72
特別利益合計	177,224	2,626
特別損失		
固定資産売却損	※2 36	—
商品不良損失	—	※3 102,931
特別損失合計	36	102,931
税金等調整前四半期純利益	243,472	29,533
法人税、住民税及び事業税	23,656	13,420
法人税等調整額	△7,651	207
法人税等合計	16,005	13,628
四半期純利益	227,466	15,905

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	243,472	29,533
賞与引当金の増減額 (△は減少)	43,829	46,900
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	—	1,809
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,710	△6,945
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△2,613	△258
受取利息及び受取配当金	△686	△655
支払利息	2,684	1,398
投資有価証券評価損戻入益	△9,691	△1,296
保険解約損益 (△は益)	△106,366	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△143,251	25,335
たな卸資産の増減額 (△は増加)	77,255	7,192
仕入債務の増減額 (△は減少)	156,139	326,386
その他	6,212	26,253
小計	268,695	455,653
利息及び配当金の受取額	773	832
利息の支払額	△2,579	△1,486
法人税等の支払額	△1,900	△188,664
営業活動によるキャッシュ・フロー	264,989	266,335
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△15,534	△2,573
保険積立金の解約による収入	242,409	—
その他	△8,932	△1,183
投資活動によるキャッシュ・フロー	217,942	△3,757
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	150,000	200,000
自己株式の取得による支出	△4	△9
配当金の支払額	△3,916	△9,204
財務活動によるキャッシュ・フロー	146,078	190,786
現金及び現金同等物に係る換算差額	△938	1,194
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	628,072	454,558
現金及び現金同等物の期首残高	472,988	823,796
現金及び現金同等物の四半期末残高	* 1,101,060	* 1,278,355

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年5月31日)

	卸売事業 (千円)	小売事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,034,921	318,900	2,353,822	—	2,353,822
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,510	—	3,510	(3,510)	—
計	2,038,432	318,900	2,357,332	(3,510)	2,353,822
営業利益又は営業損失(△)	58,309	△1,897	56,411	726	57,138

当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年5月31日)

	卸売事業 (千円)	小売事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,041,446	251,047	2,292,493	—	2,292,493
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	938	—	938	(938)	—
計	2,042,384	251,047	2,293,431	(938)	2,292,493
営業利益	121,390	5,789	127,179	181	127,361

(注) 1. 事業区分は、販売方法の類似性を考慮し、卸売事業、小売事業に区分しております。

2. 各事業区分の主な役務

(1) 卸売事業・・・キャラクターグッズ等のアミューズメント施設、物販専門店・量販店等への卸販売及び電子玩具・電子雑貨等の企画開発

(2) 小売事業・・・キャラクターグッズ、化粧品、コスメティック等の小売

3. 営業費用のうち、配賦不能営業費用はありません。

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年5月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年5月31日)

本邦の売上高及び資産の金額は、全セグメントの売上高の合計及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年5月31日)

海外売上高がないため該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年5月31日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。